

## 第4回 日野市住宅ストック活用推進協議会

日時：平成30年2月27日(火)  
14時～

場所：P l a n T内会議室  
(裏面に案内図有り)

### 【 次 第 】

#### 1. 開会

#### 2. 配布資料確認

#### 3. 報告事項

1. 自治会等に対する専門家派遣事業の実施状況

**資料1**

2. 平成30年度の専門家派遣事業の説明会の実施

**資料2**

#### 4. 議事

1. 改修費等補助金の交付申請について

**資料3**

#### 5. 現場視察

1. 空き家活用の現場

**資料4**

#### 6. 閉会

#### <<配布資料>>

- 資料1 自治会等に対する専門家派遣事業の実施状況
- 資料2 平成30年度の専門家派遣事業の説明会の実施
- 資料3 改修費等補助金の交付申請について
- 資料4 空き家活用の現場視察
- 参考資料1 第3回住宅ストック活用推進協議会議事要点録  
地域貢献活用チェックシート

# < 専門家派遣事業の活動対象地域の位置図 >



# <1 傘松第二自治会の活動について >

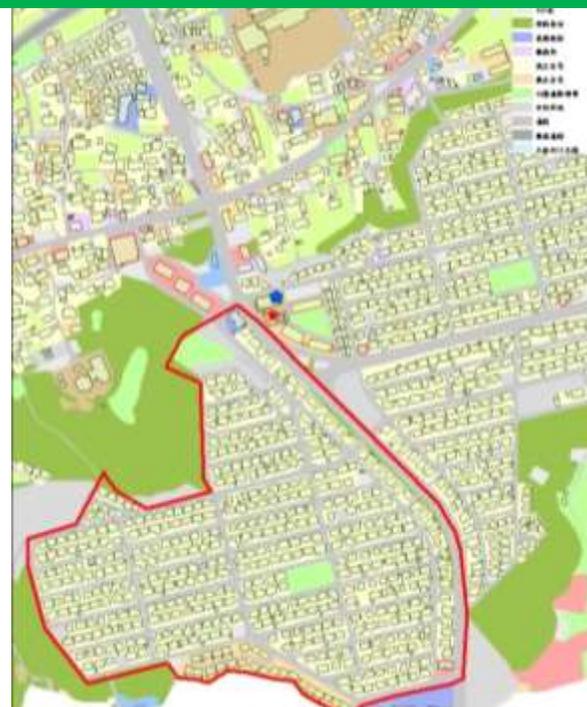
<b>対象となる地域の状況</b> 対象地域：旭が丘2丁目	
世帯数：約795（内、団体の会員数：300）	
地域又は空き家の状況	空き家の数：約10棟 本体の傷みがひどい物件は近隣住民にとって不安材料。草丈が伸びて荒れ放題もある。
<b>空き住宅等に係る活動</b> 派遣専門家：篠原氏	
活動の目標	地域の戸建住宅では高齢化が進んでおり、地域コミュニティの場所を確保して、独居老人が気軽に参加できる場所にしたい。地域の子育て世代の人たちも子どもを遊ばせながらくつろげる場所としたい。
具体的活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティサロン（高齢者サロン）</li> <li>・ 親子で過ごすかたらいサロン</li> <li>・ 地域NPOなどの団体の健康講座など</li> </ul>
活動想定人員	自治会：5～10名、NPO：3名、ボランティア：5名



# <1 傘松第二自治会の活動について >

活動の想定スケジュール（今年度）	活動の実施状況と今後の予定
①10月：第1回目ワークショップ 空き家活用場所の調査検討、 空き家での活動内容の洗い出し、 空き家の整理すべきこと洗い出し、目標の設定など	<ul style="list-style-type: none"> <li>●顔合わせ 9月27日(水)@地区センター この活動の主旨確認。 参加者自己紹介、地域の課題共有など</li> </ul>
②11月：第2回目ワークショップ 前回振り返り、地域の現状把握、 地域資源の洗い出し	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1回目話合い 10月18日(水)@地区センター 専門家の活動紹介、 この地域にあったら良いものを共有など</li> </ul>
③12月：第3回目ワークショップ 前回振り返り、活用方法のアイデアだし、検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2回目ワークショップ 11月15日(水)@地区センター まちあるき（自治会が専門家を案内）、感想の共有、 今後の活動の体制（メンバーを広げていくこと）等</li> </ul>
④1月：第4回目ワークショップ（3回目と同様の流れ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3回目ワークショップ 12月12日(水)@地区センター 地域の居場所づくりに必要なコト・モノを整理 居場所の候補「さざんか」について話し合う</li> </ul>
⑤2、3月：第5回目ワークショップ 活動計画のまとめ、今後の具体的な計画を共有する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さざんか訪問（一部メンバーで）12月21日(木)</li> <li>●4回目ワークショップ 1月17日(水)@地区センター これまでのふりかえり、居場所での1週間を想定する</li> <li>●さざんか訪問2（一部メンバーで）2月21日(水)</li> </ul> <p>今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○5回目ワークショップ 3月7日(水)@地区センター まとめ、さざんかでの月1イベントについて</li> </ul>

## <2 京王平山住宅地平山二丁目自治会の活動について >



### 対象となる地域の状況 対象地域：平山2丁目

世帯数：約503（内、団体の会員数：431）

地域又は空き家の状況

空き家の数：約20棟  
個別の状況確認ができていない。今後の対応策に関し基本的戦略作りが最大の課題

### 空き住宅等に係る活動 派遣専門家：国重氏

活動の目標

防災防犯の基礎的観点から、当該空き家20棟のフィージビリティスタディを実施し、空き家対策の有効利用に資することとしたい。

具体的活動内容

- ・地域の空き家の現状把握
- ・使用可能な個々の空き家の確認と今後の対応策を決める

これまでの取組み：空き家や周辺地域のパトロール

活動想定人員

防災防犯部員14名、ボランティア6名

### 活動の想定スケジュール（今年度）

- ①10月：第1回目ワークショップ  
地域の防災防犯に資する空き家等マップ作りに向けたヒアリング、まち歩き等実施計画の方針決定、年間ロードマップ共有や目標の設定など
- ②11月：第2回目ワークショップ  
前回おさらい、マップ作りのまち歩きコースの検討実施など
- ③12月：第3回目ワークショップ  
まち歩きまとめ、マップ作りに向けた条件整理（マップ利用方法、マップ更新方法など）、マップ作りの方法検討、利活用場所選定など
- ④1月：第4回目ワークショップ  
前回おさらい、マップ作り、具体的利活用方法など
- ⑤2、3月：第5回目ワークショップ  
活動計画のまとめ、今後の具体的な計画を共有する

### 活動の実施状況と今後の予定

- 顔合わせ 10月1日(日)@旧平山台小  
この活動の主旨確認。参加者自己紹介など
- 1回目話し合い 10月14日(土)@旧平山台小  
現在行っている防犯パトロール活動、気になる箇所の共有など
- 2回目ワークショップ 11月26日(日)@旧平山台小  
まちあるき前の目的や方法などの共有など
- 3回目ワークショップ 1月8日(月祝)  
普段歩いているルートの地図落としと参加者同士で重ね合わせて歩いてない箇所の確認後、まちあるき今後の予定
- 4回目ワークショップ 2月25日(日)@旧平山台小  
地域の地図とチェック表を持って防犯まちあるきするルール化等の整理

## <3 二水会(つながりの会)の活動について >

<b>対象となる地域の状況</b> 対象地域：程久保2、3丁目	
世帯数：約1100（内、団体の会員数：41名）	
地域又は空き家の状況	空き家の数：把握していない 高齢化が進行、坂の登りが辛い環境である。
<b>空き住宅等に係る活動</b> 派遣専門家：和久氏	
活動の目標	地域コミュニティの場所を確保して、高齢者や地域の子育て層、学生がゆるやかに交流できる場をつくりたい。 自治会、子供会、子育てサークル、学生等の皆が気軽に参加できる場
具体的活動内容	・活動が継続できる新たな組織づくり ・コミュニティサロン
	現在、地区センターで二水会の活動実施、アパート1階で介護事業(リハビリ)実施。明星大ボランティアセンター等の協力有
活動想定人員	未定（新たな組織「つながりの会」に参加できるメンバー）



### 活動の想定スケジュール（今年度）

- ①10月：第1回目ワークショップ  
空き家活用場所の共有、空き家での活動内容の洗い出し、空き家の整理すべきこと洗い出し、目標の設定など
- ②11月：第2回目ワークショップ  
前回おさらい、活動内容のシミュレーション等、管理方法、おためし内容の整理等
- ③12月：第3回目ワークショップ（2回目と同様の流れ）
- ④1月：第4回目ワークショップ（2回目と同様の流れ）
- ⑤2、3月：第5回目ワークショップ  
活動計画のまとめ、今後の具体的な計画を共有する

### 活動の実施状況と今後の予定

- 顔合わせ 9月14日(木)@明星大学  
この活動の主旨確認。参加者自己紹介など
- 1回目ワークショップ 10月5日(木)@S邸（空き家）  
何をしたいか、必要となるものの洗い出し
- 2回目ワークショップ 11月9日(木)@S邸（空き家）  
実際にみんなで掃除、庭木整理など行い、お茶会を開く
- 3回目ワークショップ 12月7日(木)@S邸（空き家）  
具体的な利用方法の整理、1週間の流れを想定してみる
- 4回目ワークショップ 1月25日(木)@S邸（空き家）  
施設名称の決定、施設改修内容の確認
- 地域と所有者、市3者による打合せ 2月3日(土)@S邸  
活用内容、改修内容の所有者同意。今後のスケジュール確認等  
今後の予定
- 3月中旬 改修工事、片付けや看板作成等
- 5回目ワークショップ 3月29日(木) 運営開始前のまとめ

## 平成 30 年度の専門家派遣事業の説明会の実施について

## &lt;平成 29 年度の説明会の実施状況&gt;

- 説明会開催日時：平成 29 年 7 月 28 日(金) 10～12 時（場所：市役所 504 会議室）
- 説明内容：市の空き家対策、本補助制度、補助制度の応募方法など
- 説明会対象者：自治会等（自治会や子ども会、老人会などの地域活動団体の方々）
- 説明会の広報：広報ひの掲載、HP 公開、自治会長へ案内通知

◇出席者：自治会関係者 36 名、認定専門家 7 名、傍聴者 3 名、市職員 3 名

→説明会時の質問は多く、本事業への関心の高さはうかがえたが、説明会参加者の内申請者は 2 名

## &lt;平成 29 年度の専門家派遣事業の進捗と課題&gt;

- 3 地域それぞれ、進捗が異なる。

	補助事業開始当初		現在の進捗	
	活動メンバー	活動場所・内容	活動メンバー	活動場所・内容
二水会	様々な属性のメンバー約 20 名が参加	場所が既に決定	メンバーによる運用体制の整理	片付け等実施し 4 月から運営開始
傘松第二	高齢者層のメンバー約 10 名が参加(主に自治会)	場所未定	若者世代も含めた活動メンバー拡充検討中	場所の候補地においてイベント検討中
平山 2 丁目	自治会役員数名が参加	活動の方向は未確定	自治会を中心としたメンバー拡充検討中	活動の具体的内容を検討中

## ●課題

傘松第二、平山 2 丁目においては、この活動を通じて、地域内の住民の方々等の活動参加が、なかなか進まない状況

→活動メンバーが様々な属性の方々で構成されるよう、補助事業当初での呼びかけ等が必要

## &lt;平成 30 年度の専門家派遣事業の説明会の変更点&gt;

	H29 年度の説明会	H30 年度の説明会	
説明会出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会関係者</li> <li>・認定専門家</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会関係者</li> <li>・認定専門家</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA、子供会関係者</li> <li>・地域活動行っている方</li> <li>・空き家活用事業者 3, 4 名</li> </ul>
説明会内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家対策概要、本補助制度・応募方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家対策概要、本補助制度、応募方法</li> <li>・空き家活用事例紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29 の派遣事業の結果報告</li> <li>・程久保 8 の事例とガイドブック</li> <li>・マッチングに向けた意見交換会</li> </ul>
説明会後の流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7/28 説明会開催</li> <li>・8/1～21 事業公募期間</li> <li>・8/28 協議会(選定の協議)</li> <li>・9月中旬 専門家と地域の顔合せ</li> <li>・10月～ 事業開始(約 6 か月間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月中旬 説明会開催</li> <li>・5～6月 活動メンバーマッチング調整</li> <li>・6月 事業公募期間</li> <li>・7月 協議会(選定の協議)</li> <li>・7月 専門家と地域の顔合わせ</li> <li>・8月～ 事業開始(約 8 か月間)</li> </ul>	

## 改修費等補助金の交付申請について

## ＜補助金の申請状況（平成29年11月28日～2月16日までの状況）＞

- 補助金の事前相談（書類提出無し含む）：2件
- 補助金の申請件数：1件

## ＜申請内容の概要＞

基礎的事項	① 空き住宅等の所在地：程久保2丁目地内	② 空き住宅等の種類：空家等 (共同住宅との併用住宅)
	③ 用途地域：第一種低層住居専用地域	④ 地区計画等：なし
地域の概要	当該地は昭和38年頃に丘陵部の斜面地に宅地開発された住宅地 周辺には明星大学や多摩モノレール多摩動物公園駅、多摩動物公園が立地。 住宅地は開発当時の約630戸→約1100戸と増加。宅地分割された比較的新しい建売住宅の他、賃貸アパートも立地。	
	自治会：第二武蔵野台第一自治会(総世帯数507の内296加入) 第二武蔵野台第二自治会(総世帯数162の内112加入) 第二武蔵野台第三自治会(総世帯数135の内115加入) 明星大学前自治会(総世帯数299の内193加入) 総世帯数計1103世帯の内716	
活用の概要	① 補助対象事業の種類：スタートアップ改修	
	地域貢献活用の目的：高齢者や地域の子育て層、学生がゆるやかに交流できる場をつくり、地域コミュニティの活性化をすること	
	地域貢献活用の内容：地域住民（高齢者、子育て層、子ども会、自治会）の有志、明星大学学生、民生委員、日野市社会福祉協議会などによるコミュニティサロンの場づくり	
	④ 地域又は当該空き家に関する課題：高齢化が進行しており、住宅地内の坂の登りが高齢者には辛い環境となっているが、地域内にふらっと寄れる場を設け、外出できる機会や交流を増やすことが必要となっている。	
	⑤ 空き家改修の内容：窓2か所に転落防止用の柵設置、施設看板設置、掘りごたつ用造作物等 補助対象事業費：328千円(税抜) 補助金交付申請額：262千円←(328千円)×4/5(自己負担9万円)	
	⑥ 活用事業者：明星地区つながりの家 構成員：41名(内、子供会11・子育てサークル2・民生委員2・自治会長1)(男12女29)	
⑦ 備考：当該空き家は、日野市高齢福祉課が実施している事業(高齢者見守り支援ネットワークふれあい交流型事業)によるふれあいサロン第11号として運営を想定		